

再評価【番号7】

一般国道492号
川井バイパス

1. 事業概要

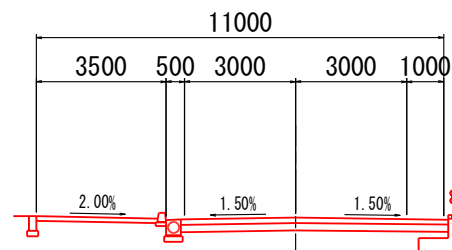


標準断面

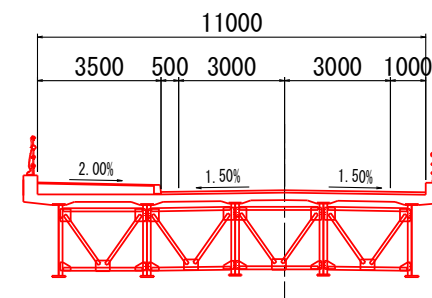
位置図



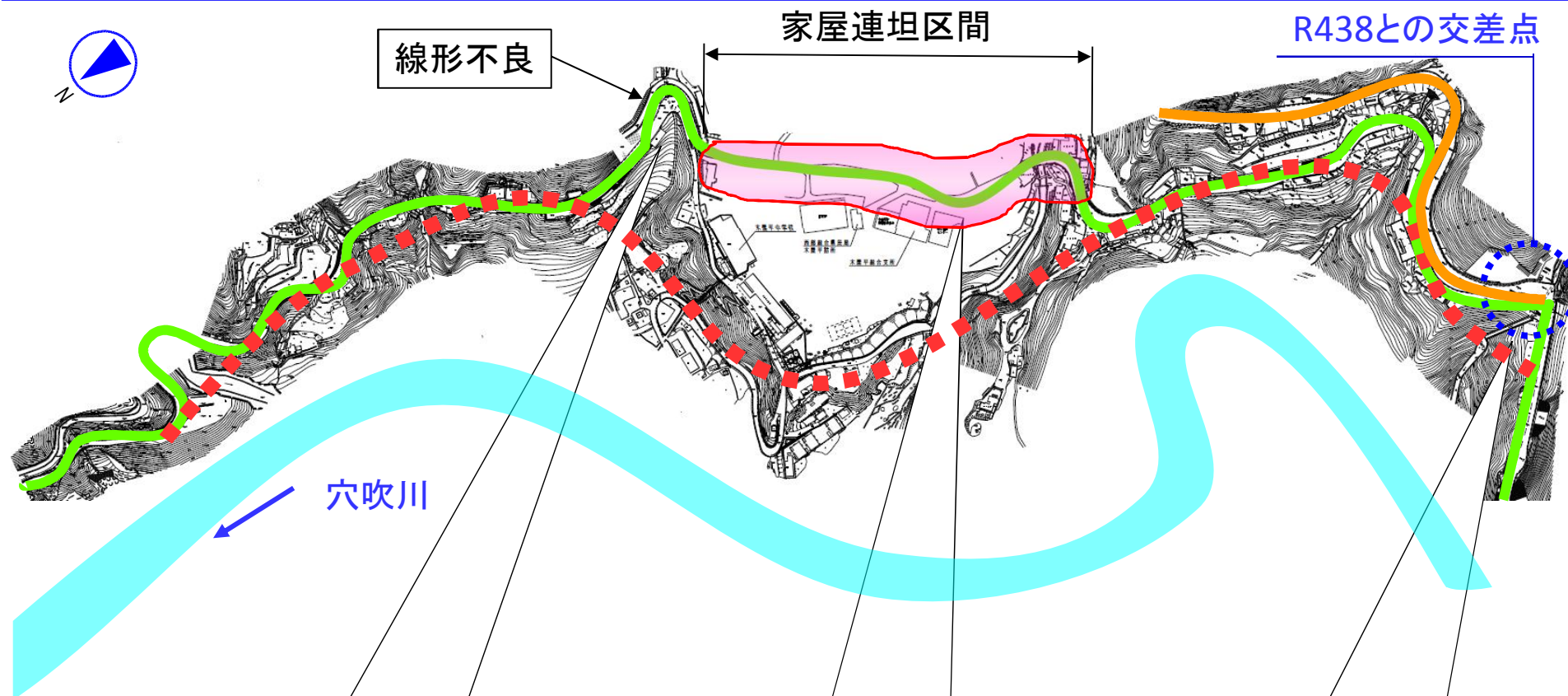
土工部



橋梁部



2. 現道の道路交通上の課題



線形不良



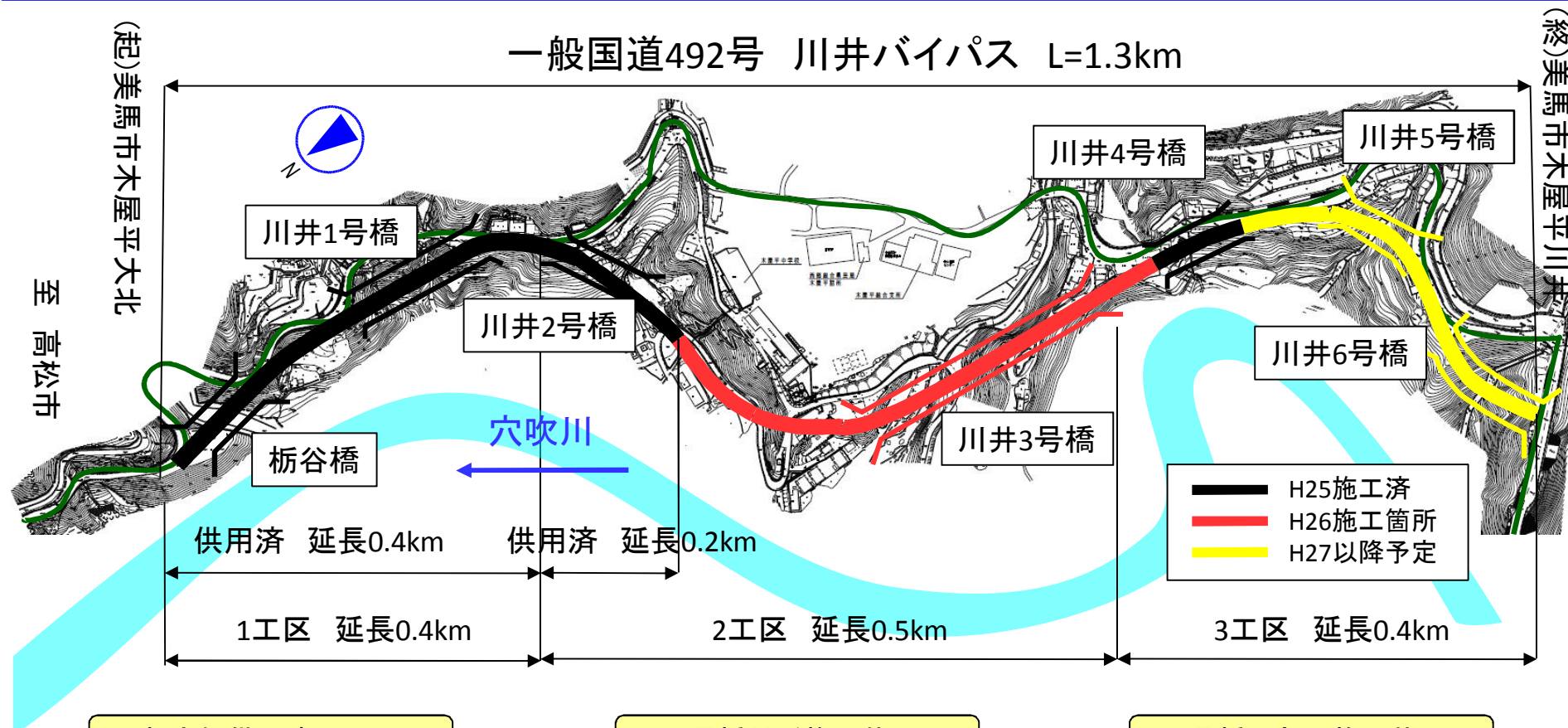
家屋連坦区間



線形不良な交差点



3. 事業の進捗状況



起点側供用済み区間



3号橋付近施工状況



5号橋下部工施工状況



4. 事業評価結果

貨幣換算可能な整備効果

- ・ 走行時間短縮便益
 - ・ 走行経費減少便益
 - ・ 交通事故減少便益
- 計 **49.6億円**
(現在価値化後)

※費用C=48.1億円 (現在価値化後)

$$\frac{B}{C} = 1.0$$

+

その他の便益

計 **9.0億円**
(現在価値化後)

医療

- ・ 救命率の向上効果 8.8億円

環境

- ・ 大気汚染や温暖化防止効果 0.2億円

(参考) その他の便益を含む $B/C = 1.2$

貨幣価値に表れない整備効果

防災・減災

- 緊急輸送道路ネットワークの強化
⇒ 道路の走行性、安全性が向上
- 防災拠点等へのアクセス強化
⇒ 地域防災力が向上

安全・安心

- 安全・安心の確保
⇒ 現道における人家連担区間を迂回し、歩行者の安全を確保
- 救急車両のアクセス向上
⇒ 地域住民の安心感の向上

産業振興

- 観光地へのアクセス強化
⇒ 観光を中心とした産業振興

5. 道路整備による多様な効果①【貨幣価値換算可能な整備効果】

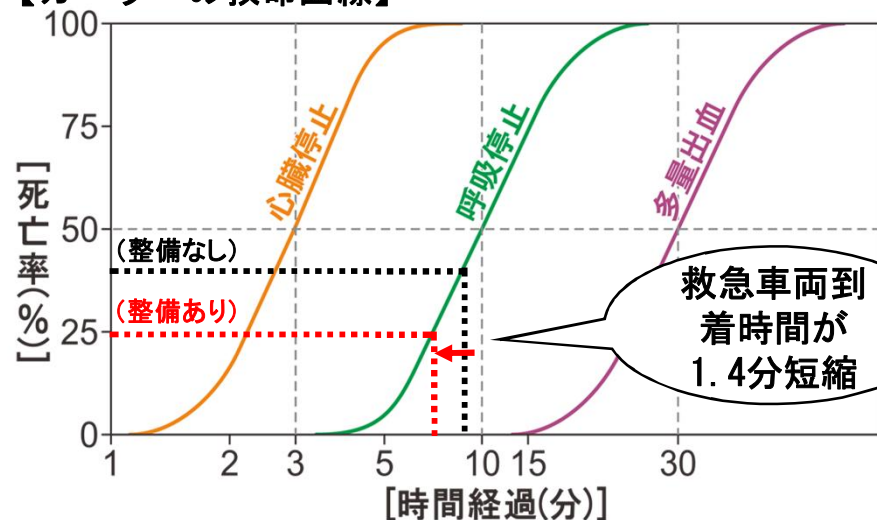
◎その他の便益

医 療

■救急医療へのアクセス向上効果

- ・ 木屋平総合支所から集落までの**救急車両到達時間が短縮**されることにより、**救命率の向上**が見込まれる

【カーラーの救命曲線】



- ・ 呼吸停止後の死亡率が**約9%低減**

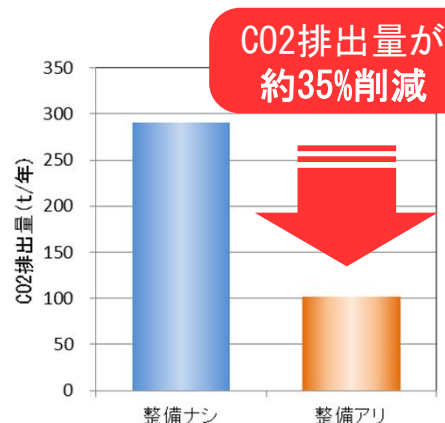
救命率の向上効果 : 8.8億円

環 境

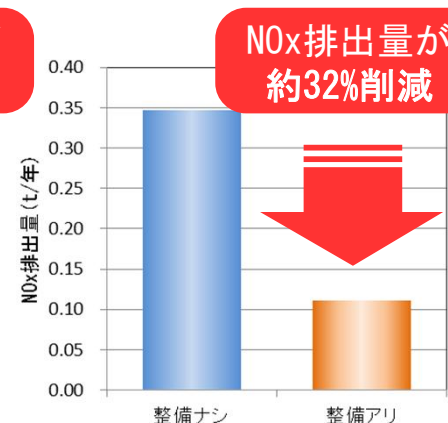
■大気汚染や温暖化防止効果

- ・ **CO₂、NO_xの排出量が抑制**されることにより、**大気汚染・温暖化防止効果**が見込まれる

【CO₂排出量】



【NO_x排出量】



大気汚染・温暖化防止効果: 0.2億円

5. 道路整備による多様な効果②【防災・減災】【安全・安心】

【防災・減災】災害に強い道路ネットワークの構築

①緊急輸送道路ネットワークの強化

- ・幅員狭小の解消（W=3.5m → 7.5～8.0m）
- ・線形不良の解消
- ➡ 走行性の向上により、物資輸送等が円滑に

②広域支援体制の強化

- ・第2次緊急輸送道路として、防災拠点、物資拠点へのアクセス強化
- ➡ 地域防災力の強化

【安全・安心】地域内の安全な通行の確保

①安全安心の確保

- ・家屋連担区間内を通過している幅員狭小な現道を迂回
- ➡ 地域住民の安全を確保
- ・家屋連担地における歩道整備
- ➡ 歩行者の安全を確保

②地域住民の救命率の向上

- ・道路整備により、救急医療のアクセス向上
- ➡ 地域住民の安心感の向上



— 1次緊急輸送道路 — 2次緊急輸送道路
— 3次緊急輸送道路

家屋連担区間の通行状況



5. 道路整備による多様な効果③ 【産業振興】

【産業振興】地域経済の活性化

①観光地へのアクセス向上

・にし阿波～剣山・吉野川観光圏内のへのアクセスの向上 ⇒観光を中心とした地域振興



6. 事業評価結果

貨幣換算可能な整備効果

- ・ 走行時間短縮便益
 - ・ 走行経費減少便益
 - ・ 交通事故減少便益
- 計 **49.6億円**
(現在価値化後)

※費用C=48.1億円 (現在価値化後)

$$\frac{B}{C} = 1.0$$

+

その他の便益

計 **9.0億円**
(現在価値化後)

医療

- ・ 救命率の向上効果 8.8億円

環境

- ・ 大気汚染や温暖化防止効果 0.2億円

(参考) その他の便益を含む $B/C = 1.2$

貨幣価値に表れない整備効果

防災・減災

- 緊急輸送道路ネットワークの強化
⇒ 道路の走行性、安全性が向上
- 防災拠点等へのアクセス強化
⇒ 地域防災力が向上

安全・安心

- 安全・安心の確保
⇒ 現道における人家連担区間を迂回し、歩行者の安全を確保
- 救急車両のアクセス向上
⇒ 地域住民の安心感の向上

産業振興

- 観光地へのアクセス強化
⇒ 観光を中心とした産業振興

■ 今後の対応方針(案)

事業継続